

教科	科目	単位数	年次	学科(コース)	区分	使用教科書
工業	工業技術基礎	2	1	デザイン科	必修	工業技術基礎 (実教出版)

### 1. 学習の到達目標

工業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、ものづくりを通じ、地域や社会の健全で持続的な発展を担う職業人として必要な資質・能力を育成することを旨とする。

### 2. 学習の評価

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の規準	工業技術について工業の持つ社会的な意義や役割と人と技術のかかわりを踏まえて理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。	工業技術に関する課題を発見し、工業に携わる者として科学的な根拠に基づき工業技術の進展に対応し解決する力を養う。	工業技術に関する広い視野を持つことを目指して自ら学び、工業の発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。
評価の方法	課題（作品）内容	課題（作品）内容 課題の提出状況	授業態度 学習への取り組み状況 課題の提出状況

### 3. 教科からのメッセージ

デザインに必要な用具の効果的な活用法とさまざまな素材による表現方法の違いを学びましょう。技術を身に付けるためには道具を使いこなすことが大切です。基本的な技術の習得を目標に、演習課題（作品制作）を通して創造につながる知識と技術を身に付けてください。

### 4. 年間指導計画

4月	立方体の制作及びデッサン
5月	・立方体をケント紙で作る。鉛筆や紙、カッターやのりなどの基本的な用具の使い方を習得する。
6月	
7月	・モチーフ（立方体、球など）を観察し、表現する技術（鉛筆による濃淡の表現）と姿勢を身につける。 ・合評会
9月	色相環とカラーイメージ
10月	・色彩の基礎と配色計画の演習を行う。
11月	・混色によるグラデーションで色感のバランス力を養う。 ・合評会
12月	粘土（又は木材）による立体造形（摸刻）
1月	・野菜などの自然物を見本に、粘土を使い造形する。
2月	・外形のみに捉われず、全体の量感や重心などを意識できるようにする。
3月	・合評会